

平成 23 年度 日本臨床検査医学会  
臨時社員総会だより

日 時：平成 23 年 11 月 17 日(木)17:00～18:00  
場 所：岡山コンベンションセンター2F  
レセプションホール(第 5 会場)

開会に先立ち、評議員の近藤信一先生(享年 59 歳：2010 年)、小島英明先生(享年 56 歳 2011/4/16)、功労会員の伊藤機一先生(享年 69 歳：2011/8/20)の逝去を悼み黙祷がなされ、続いて宮澤幸久理事長より挨拶があり、定款に基づき宮澤理事長が議長となって議事を進行した。

委任状が 102 通で出席者(約 126 名)と合わせ社員(評議員)数(256 名)の 2 分の 1 以上(128 名以上)の出席を満たしており、この会は成立することが告げられた。

【報告事項】

1. 各種委員会活動報告

A. 学術推進化委員会

平成 21・22 年度学術推進プロジェクト研究 6 課題に対し 2 年目の研究助成金を支給し、第 58 回学術集会で最終報告を行う。

B. 編集委員会

本年 1 月から新査読システム(1 投稿論文に対して 1 人の編集委員(主任査読委員)と 2 人の査読委員が担当する)を開始した。

平成 22 年度の臨床病理誌に掲載された論文について、平成 23 年度学術賞優秀論文賞候補論文の選定を行い、候補 3 論文(候補者)を学会賞委員会に結果報告をした。

C. 教育委員会

臨床検査専門医卒後研修評価表、臨床検査専門医卒後研修登録票を作成した。

今後、指導医ガイドラインを作成予定。

D. 臨床検査点数委員会

平成 24 年度診療報酬改定提案内容について、日本臨床検査専門医会保険点数委員会と合同で検討を行い、平成 24 年度医療技術の評価・再評価に係る提案書を提出した。

医療ニーズの高い医療機器等の早期導入要望に関する意見募集の検討、臨床検査振興協議会医療政策委

員会、内保連臨床検査関連委員会の生体検査コスト調査、特定内科診療の新設等について活動協力した。

1. 平成 24 年度診療報酬改定提案について

「日本臨床検査医学会からの提案」

1. ティルト試験(未記載項目)
2. プロテイン S 活性測定(未記載項目)
3. 微生物学的検査(既記載項目)
4. 生理検査に係る乳幼児加算(既記載項目)
5. 生化学的検査(I)又は(II)に係る多項目包括規定の見直し(既記載項目)
6. 心電図、呼吸機能検査、超音波検査に係る夜間休日加算(既記載項目)
7. 結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロニン測定(既記載項目)
8. スパイログラフィー等検査、肺拡散能力検査(既記載項目)
9. トレッドミルによる心肺機能検査、サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査(既記載項目)
10. 終夜睡眠ポリグラフィー(既記載項目)
11. 削除項目の提案(既記載項目)
12. グリコアルブミン(既記載項目)

「日本臨床検査専門医会からの提案書」

1. 生理機能検査管理加算(未記載項目)
2. 血液採取(既記載項目)
3. 末梢血液像(既記載項目)
4. 尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定(既記載項目)
5. 染色体検査(既記載項目)
6. 悪性腫瘍遺伝子検査(既記載項目)
7. 時間外緊急院内検査管理加算(既記載項目)
8. 血液細胞核酸増幅同検査(既記載項目)
9. 免疫関連遺伝子再構成(既記載項目)
10. UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型(既記載項目)
11. WT1mRNA 核酸増幅検査(既記載項目)
12. CK19mRNA(既記載項目)

E. 学会賞委員会

平成 23 年度学会賞の選考、規程の一部改定を行った。

F. 標準化委員会

臨床検査値学生用共通基準範囲を設定し、臨床病理誌 58 巻 11 号とホームページに掲載した。

基準範囲共用化合同WGを発足し、学会連絡担当委員の選任をし、日本全国で共用可能な実証的エビデンスに基づいた基準範囲と実用的に許容可能な臨床検査値基準範囲の策定を行い、各種機関団体に提案することを目的とし活動している。

#### G. 精度管理委員会

2011年CAPサーベイ募集、申込を受け、サーベイ試料の発送、集計を行い、2012年度CAPサーベイの募集を開始した。サーベイ参加施設の増加を目指して、当会学術集会、臨床検査自動化学会、IVDグローバルニュースで広報活動を行い、ISO15189取得施設への啓発活動を実施している。

#### H. EBLM委員会

第58回学術集会で行うシンポジウムとEBLMセミナーの検討をした。

#### I. 倫理委員会

平成22年3月に公表した「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について」見解の改訂発表後、意見交換を行った。問題は寄せられておらず、今後問題が生じた場合にQ&Aなどで対応する。

医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン(案)について、日本臨床検査医学会として倫理委員会からは、独立した形でCOI委員会を設置する予定であるが、今後違反者への措置対応などについては、倫理委員会がCOIの問題に関わって行く予定。

#### J. ガイドライン作成委員会

臨床検査のガイドラインJSLM2009の内容についての反省と今後の方向性を検討した。今後は、3年に1度発刊する予定。

#### K. 遺伝子委員会

平成22年12月16日に厚労省記者クラブで「ゲノム薬理学を適用する臨床研究と検査に関するガイドライン」を公表。平成22年12月8日に「PGx検査の運用指針の改訂版」(臨床検査医学会、人類遺伝学会、JCCLS3団体で改訂承認)を公表。平成23年2月、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」が日本医学会から公表された。

同学院と共催で行っている遺伝子分析科学認定士制度の更新制度を定め、上級資格名称を一級遺伝子分析科学認定士とした。

#### L. 国際委員会

国際学会(ASCPaLM, WASPaLM)開催、演題登録の広報を行い、国際学会参加者への助成金への応募を行っ

た。

#### M. 医療安全委員会

第58回学術集会で行う医療安全委員会主催のシンポジウム「感染症の医療安全」を検討した。

#### N. 検査項目コード委員会

新規のJLAC10コードの検討、JCCLS用語委員会との合同委員会で、標準検査名称と標準検査法の設定規則と案を検討し、それぞれを臨床検査医学会の各専門の先生に意見を求めたうえで、内保連の加盟団体と臨床化学会、臨床検査専門医会、遺伝子診療学会にパブリックコメントを求め、最終案のまとめを行った。

#### O. 渉外委員会

学術集会での展示の在り方等について検討を行った。

#### P. 東日本大震災対策委員会

日本臨床検査医学会では、3月11日に起った東日本大震災現在の難局に対応するため、被災地(岩手県、宮城県、福島県の被災地診療所等)において、医療の一助となるであろうPOC関連機器の貸与、試薬の無償提供することを目的に一時的に発足した。

POC機器を中心に臨床検査機器の貸与、試薬の無償提供(寄付)について、会員へのメール、ホームページで広報し被災地から希望があった場合、企業の協力を得てニーズに沿った供給を行った。その後、7月下旬に支援を行った施設に、機器貸与、試薬無償提供の使用状況の調査を行い、支援目的が達成されたことを確認し、貸与した機器の返却、希望があれば期限延長して貸与することとした。

4月中旬に宮澤幸久理事長、諏訪部章顧問、坂本秀生委員長が、岩手県陸前高田市の診療所、救護所を視察し、支援した臨床検査物資が有効利用されていたが、臨床検査技師の不足、不在である状況を知り、岩手県災害医療本部内「いわて災害医療支援ネットワークセンター」よりの当会への正式な臨床検査技師の派遣要請を受け、兵臨技の協力を得て4月27日～6月下旬まで技師の派遣を行った。

7月に5名の委員が福島(福島医科大学、南相馬市立病院、おのだ内科、原町中央産婦人科医院)を視察し、地震、津波による物理的な被害があまり目立たないものの、放射能汚染物質の影響により、医療職員への精神的な支援が必要と感じた。

11月上旬に被災した宮城沿岸部と東北大学病院を視察し意見交換会を行った。

本活動を通じて得た知見と経験を元に「災害時における臨床検査支援」に関する提案書を作成し、学会に提案する予定。

#### Q. 研修施設・指導者認定委員会

1月1日、7月1日付での新規申請施設、再認定施設の、研修施設・指導者についての適否の審査を行い、審議会に報告した。

#### R. 受験・更新資格審査委員会

臨床検査専門医および臨床検査管理医認定試験受験者の受験資格と、臨床検査専門医の更新資格と関連事項について審査を行い、審議会に報告した。

#### S. 試験委員会

8月6日、7日実施の臨床検査専門医認定試験内容などについて検討を行い、臨床検査専門医認定試験の可否案を試験実行委員会との合同会議で作成し、本委員会でも合否判定を行った。

#### T. 試験実行委員会

8月6日、7日に臨床検査専門医認定試験を実施した。

#### U. 臨床検査専門医制度検討委員会

臨床検査専門医制度に関する問題点の検討を行った。

### 2. 第59回日本臨床検査医学会学術集会報告

(京都 2012/11/29(木)～12/2(日))

(宮澤幸久 理事長)

2012年11月29日(木)～12月2日(日)に、国立京都国際会館で、一山智会長(京都大)のもと開催される予定であることが報告され、一山会長から一言御挨拶があった。

### 3. 第60回日本臨床検査医学会学術集会報告

(神戸 2013/10/31(木)～11/3(日))

(宮澤幸久 理事長)

2013年10月31日(木)～11月3日(日)に、神戸国際会議場で、荏原順一会長(秋田大)のもと開催される予定であることが報告され、一言御挨拶があった。

### 4. 第12回 ASCPaLM 報告

(京都 2012/11/29(木)～12/2(日))

(高橋伯夫 第12回 ASCPaLM 大会長)

2012年11月29日(木)～12月2日(日)に、国立京都国際会館で、第59回学術集会と同時に開催する

予定であることが報告され、高橋伯夫会長から一言御挨拶があった。

### 5. 東日本大震災での当会の対応、東日本大震災対策委員会の設置と活動について

(宮澤幸久理事長)

各種委員会活動報告の1-P. 東日本大震災対策委員会報告のとおりであることが報告された。

また、当年3月27日の理事会、定時社員総会で、当会として支援活動の一環として1000万円を義援金として寄付する提案がなされたが、適切な金額、学術団体として最も適切な対応は何かと議論がなされ、臨床検査に関係した施設、被災した会員、臨床検査に関連したもののへの支援などが望ましいのではないかということとなり、まず、東日本大震災対策委員会での機器や試薬の輸送費、交通費など必要になったときに支出することを主として、その他、臨床検査関連で有用で必要な場合に協議したうえで支出することが承認されたことが報告された。

### 6. 学会賞に関する規定の一部改定について

(矢富裕 総務理事)

①学会賞の「検査・技術賞」の受賞対象者として、臨床検査技師および衛生検査技師と限定することとしたこと、②「奨励賞」の条件の学術集会での筆頭発表者を外し、「臨床病理」誌の原著論文の筆頭著者で優れた業績を示した会員としたこと、③ Bergmeyer-Kawai 賞の副賞の実際の金額を記載した改定箇所について報告された。

### 7. 臨床検査専門医制度規定の一部改定について

(村田満 理事)

1)臨床検査専門医の受験資格の会員歴については、日本専門医制評価・認定機構の専門医整備指針に則り、臨床検査専門医規定2条、2)の「出願時満5年以上」を「出願時会員」であることとし、会員歴ではなく5年間の研修歴について重視することとなる。なお、5年間の研修には2年間の初期臨床研修を含めることも可とするとした。

2)専門医更新において65歳以上の専門医も更新の単位を取得して更新していただくこととなったため、認定更新制度規定6条の「なお…65歳に達した場合は…別に定める申請方法により資格更新ができ

る。」を削除することとした。これは、厚生労働省の担当者から、更新条件を年齢に関らず同条件でなければ外形基準を満たさず、専門医を呼称することはできないこととなると指摘があったため。

3)平成22年11月13日改定で、「4.(4)日本臨床検査医学会が主催または後援する学術講演会でのリスクマネジメントに関する講習会に1回以上出席すること。」が追加された。

この単位について、単位表にB.の項目を追加した。なお、このリスクマネジメントに関する講習会は、日本臨床検査医学会と日本臨床検査専門医会が主催する講習会と限定した。

4)必須条件の単位を枠外に記載して判り易くした。

5)2科目以下の不合格の場合の再試験受験の受験できる年数、回数が曖昧だったため「初回受験年度を含め5年度以内に限り…」と判り易く改定した。

以上の5点の改定について報告された。

## 8. 利益相反委員会の設置について

(宮澤幸久 理事長)

平成22年度に組織することが決定しており、臨床病理誌上、編集上でもCOIに関連する問題がいくつか発生しており、学会の規定を作成する必要が急速に高まってきたため、当委員会を設置することになり委員長には佐藤尚武先生(順天堂大)にお願いすることが報告された。

## 9. 「全国検査部長・技師長会議に関する取り決め」について(矢富裕 総務理事)

学術集会時に開催する全国検査部長・技師長会議について、これまで学術集会事務局で案内の通知などをしてきたが継続した事務の申し送りができないこと、またリストにない病院などから開催案内を催促されることもあるため、当事務局で事務作業を行い、開催通知は理事長と学術集會長の連名として発送すること、そして会議に出席する場合は学術集会への参加登録を必要条件とすることが報告された。

## 10. その他

特になし。

## 【審議事項】

### 1. 次期役員について

#### A. 平成24・25・26・27年度 理事長、理事・監事 選挙結果について(宮澤幸久 理事長)

理事長、理事・監事選挙について、それぞれ、6月29日、9月14日開票の結果、理事長として村田満先生が、理事としては、米山彰子先生、安東由喜雄先生、佐守友博先生、北島勲先生が、監事として高木康先生が選出されたことが報告され、承認された。

#### B. 副理事長、指名理事、常任理事について

(宮澤幸久 理事長、村田満 理事)

副理事長として選挙選出理事の安東由喜雄先生を、指名理事として矢富裕先生、尾崎由基男先生、藤田清貴先生、横田浩充先生を、常任理事として矢富裕先生(総務担当)、前川真人先生(会計担当)を選任したいことが報告された。なお、指名理事は、当初2年とするが理事長の任期内で重任がありうると説明された。

これに対して、副理事長について、理事長代行時のエフォート率に関して心配する意見があったが、問題ないとの見解が示された。

次に、当会は病理関係の先生も多く会員におられ、病理学会との良好な関係のため、病理担当理事が置かれてきた経緯があるため病理担当理事を選任されてはいかかとの意見があった。これに対して、村田満次期理事長より、然るべき方を選定していきたいと回答された。

以上の議論のうへ、副理事長、指名理事、常任理事について承認された。

#### B. 平成24・25年度支部理事について

(宮澤幸久 理事長)

平成24・25年度の支部理事は下記の通り、北海道、東北支部は重任となること、東海・北陸、近畿、九州各支部は交代となること、関東・甲信越、中国・四国支部については次回支部総会で決定されるため来年の定時社員総会で承認を得ることが報告され、承認された。

次期支部理事(任期2年)

北海道支部：渡邊直樹先生(重任)

東北支部：賀来満夫先生(重任)

関東・甲信越支部：尾崎由基男先生一交代



(2011年12月の支部総会で決定の予定)

東海・北陸支部：北島勲先生一和田隆志先生

近畿支部：岡部英俊先生一田窪孝行先生

中国・四国支部：日野田裕治先生一交代

(2012年2月の支部総会で決定の予定)

九州支部：山根誠久先生一康東天先生

## 2. 平成23年度中間決算報告・平成24年度会計予算案について(村田満 会計理事)

平成23年度中間決算報告について、平成23年度予算を併記し、一般会計(東日本大震災対策費用含)、特別会計、アジア交流基金、学会賞基金の部門別となっている中間までの実績が報告され承認された。

平成24年度予算案については、平成22年度決算を元に検討しており、共催展示会収入については収入の見込みがないため計上していないこと、ガイドライン作成及び送付費用、名簿作成費用が予算として計上されていること、諸会費として日本医療安全調査機構会費負担が増えるためその分増額されていること等が報告された。

平成24年度共催展示会収入の見込みがないことについて、学術集会を開催するには必要な財源で、この収入がなければ学術集会が運営できない事態になるのではないかと意見があった。10月22日に開催された理事会では、第58回学術集会の運営資金に不足が出た場合は、学会から補填をすることについて意見交換があったことが報告された。また、自動化学会との共催展示会を、今後、行わない方向であれば、この不足分をどのようにしていくのか、当会独自で展示を行っていくのか、違う方法があるのかという質問に対して、共催展示会の助成金については、まだ振興会からの回答を得ていないため、その結果に応じて対応していく予定であること、他の団体が当会の学術集会に合わせて展示を行う案もあるが、まだ不確定であると回答がなされた。このような状況であれば、安定的に学術集会を運営するため、共催展示会からの収入の有無にかかわらず今後2年間は特別会計から1200万円を学術集会へ補填していくことが承認された。

特別会計、学会賞基金については、現在、銀行で保障されている1千万円を超える金額が定期預金として預けられているが、リスクを回避するため利息が付かないが元金が保障される決済預金への預け替え

をする予定であることが報告され承認された。

なお、平成22年度収支決算報告は、3/27(日)に開催された定時社員総会で承認されており、臨床病理4月号に掲載していることが報告された(後頁に掲載)。

## 3. 平成23年度事業中間報告について

(矢富裕 総務理事)

平成23年度事業報告があり承認された(後頁に掲載)。

## 4. 平成24年度事業計画(案)について

(矢富裕 総務理事)

平成24年度事業計画(案)が提示され承認された(後頁に掲載)。

## 5. 平成24年度からの名誉会員・功労会員・社員(評議員)の推薦について(高橋伯夫 副理事長)

名誉会員として、理事会から中原一彦先生、熊谷俊一先生、宮澤幸久先生の3名の推薦があり承認された。

功労会員として、各支部から推薦され理事会で承認された下記8名が推薦され承認された。

(関東・甲信越支部)

大林民典先生、岡田正彦先生、高宮脩先生

(東海・北陸支部)

吉田治義先生

(近畿支部)

朝山均先生、向井正彦先生

(中国・四国支部)

新谷憲治先生

(九州支部)

上平憲先生

各支部から推薦され理事会で承認された下記15名が評議員として提示され承認された。

(北海道支部)

清水力先生

(関東 甲信越支部)

池田均先生、尾本きよか先生、小谷和彦先生、

常川勝彦先生、長嶋洋治先生、春木宏介先生、

三橋知明先生、三村邦裕先生、宮島栄治先生、

盛田俊介先生

(近畿支部)

大倉ひろ枝先生, 高倉俊二先生, 山崎正晴先生

(九州支部)

橋口昭人先生

**閉会の挨拶** (高橋伯夫 副理事長)

高橋伯夫副理事長から閉会の挨拶があり, 臨時社員総会は閉会した。

**6. 第61回(平成26年度 ; 2014年)学術集会長の推薦について**(宮澤幸久 理事長)

九州支部からの安東由喜雄先生(熊本大)が推薦され, 承認された。安東由喜雄先生から一言御挨拶があった。

**7. 東日本大震災 被災者の年会費免除について**

(矢富裕 総務理事)

東日本大震災にあたり, 被災した会員への支援として, 平成24年度会費を申請により免除することが提案され, 承認された。

**8. その他**

平成24年度定時社員総会日程について(矢富裕 総務理事)

平成24年3月31日(土)15:30より, 平成23年度に関する定時社員総会を開催予定であることが報告された。

**平成23年度  
日本臨床検査医学会総会だより**

日時: 平成23年11月18日(金)14:20~15:20

場所: 岡山コンベンションセンター3F

コンベンションホール西(第1会場)

出席数: 約190名

開会に先立ち, 評議員の近藤信一先生(享年59歳: 2010年), 小島英明先生(享年56歳 2011/4/16), 功労会員の伊藤機一先生(享年69歳: 2011/8/20)の逝去を悼み黙祷がなされ, 続いて宮澤幸久理事長より挨拶があった。そして, 学術集会長の小出典男先生が議長となって議事を進行した。

臨時社員総会と同じ内容の報告がなされた。

その後, 表彰式(功労会員顕彰, 学会賞受賞式, 臨床検査専門医認定証授与)が執り行われた。

最後に高橋伯夫副理事長より挨拶があり総会は閉会した。

《平成23年度中間報告・平成24年度予算案》

一般会計

自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日

【経常損益の部】	H23予算	H23中間実績	H22決算	H24予算(案)
(事業損益の部)				
[事業収入]				
正会員会費収入(学生会費含)	32,000,000	26,537,000	36,602,000	32,000,000
功労会員会費収入	1,000,000	707,000	931,000	1,022,000
評議員会費収入	270,000	200,000	269,000	260,000
賛助会費収入	4,500,000	3,500,000	3,700,000	4,000,000
臨時会費収入	1,000,000	194,000	1,189,000	1,200,000
会費収入 合計	38,770,000	31,138,000	42,691,000	38,482,000
専門医受験料収入(再試験料含)	1,500,000	1,060,000	1,170,000	1,500,000
専門医登録料収入	900,000	0	540,000	900,000
専門医更新料収入	800,000	690,000	860,000	1,100,000
専門医関連収入 合計	3,200,000	1,750,000	2,570,000	3,500,000
管理医受験料収入	1,200,000	180,000	670,000	1,200,000
管理医申請料収入	100,000	60,000	50,000	150,000
管理医登録料収入	400,000	200,000	290,000	400,000
管理医更新料収入	0	0	0	600,000
管理医関連収入 合計	1,700,000	440,000	1,010,000	2,350,000
外販収入	15,000,000	4,159,582	11,031,259	15,000,000
広告収入	4,500,000	1,919,400	3,780,000	4,500,000
学会機関紙事業収入 合計	19,500,000	6,078,982	14,811,259	19,500,000
名簿広告料収入	0	0	0	700,000
出版事業収入	1,000,000	551,460	1,150,905	1,100,000
許諾使用料収入	500,000	23,969	269,932	500,000
臨床検査ガイドライン冊子収入	1,000,000	114,900	748,800	1,000,000
臨床検査ガイドラインHB著作権料収入	0	0	0	1,000,000
臨床検査ガイドラインHB編集査読料収入	0	0	0	2,000,000
検査診断事典編集・著作権使用料等収入	1,600,000	0	2,185,945	2,000,000
会議室使用料収入	1,500,000	633,000	1,304,580	1,500,000
雑収入	-	-	3,740,109	0
その他の事業収入 合計	5,600,000	1,323,329	9,400,271	9,800,000
第56回学術集会(札幌)より	0	0	3,160,000	0
第57回学術集会(東京)より	0	7,197,234	0	0
学術集会返戻金等収入 合計	0	7,197,234	3,160,000	0
共催展示会分配金収入 合計	12,000,000	0	12,000,000	0
事業総収入	80,770,000	47,927,545	85,642,530	73,632,000

## 日本臨床検査医学会ニュース

	H23予算	H23中間実績	H22決算	H24予算(案)
[事業経費]				
学会機関紙発行費用 合計	27,000,000	10,900,801	27,355,660	27,355,660
支部活動補助金	2,900,000	2,825,500	2,813,000	2,900,000
各種委員会活動補助金	1,700,000	1,092,898	1,681,693	1,700,000
学術集会補助金(共催展示会収入から)	12,000,000	0	12,000,000	0
学術集会補助金(当会から)	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
東日本大震災対策費用	—	2,500,352	0	0
学術推進プロジェクト研究助成金	2,500,000	0	3,500,000	2,500,000
専門医認定試験費用	2,000,000	2,000,000	2,146,685	2,000,000
管理医講習・認定試験費用	1,500,000	134,925	586,811	1,000,000
会員証発行費用	300,000	6,278	237,250	100,000
諸会費*	1,700,000	1,486,384	1,609,166	2,300,000
臨床検査ガイドライン冊子作製・送付費用	0	472	84,336	3,800,000
名簿作製費・確認作業・送料	0	0	1,113,604	1,200,000
事業費 合計	29,600,000	15,046,809	30,772,545	22,500,000
会議費	800,000	460,317	872,947	800,000
旅費交通費	2,900,000	1,371,450	2,774,730	2,900,000
通信費	1,300,000	780,912	959,325	1,300,000
事務用品費・印刷・リース費※	1,500,000	908,467	1,310,477	1,500,000
事務委託費	1,300,000	525,000	1,260,000	1,300,000
顧問料	1,025,000	1,095,000	1,025,000	1,000,000
交際費(慶弔費)	100,000	55,859	66,916	100,000
事務所賃借料	5,700,000	2,826,492	5,652,984	5,700,000
事務所諸経費	600,000	292,242	554,400	600,000
事務所備品代	500,000	32,344	15,201	500,000
水道光熱費	400,000	148,025	341,030	400,000
事務所更新料	500,000	0	0	500,000
給与・手当	5,000,000	1,919,825	4,711,311	5,000,000
法定福利費	700,000	367,128	688,506	700,000
退職掛金	0	0	0	300,000
消耗品費	400,000	85,273	200,396	200,000
法人登記変更等費用	200,000	2,700	168,700	100,000
雑費	300,000	131,788	188,013	300,000
予備費	55,000	0	0	26,340
管理費 合計	23,280,000	11,002,822	20,789,936	23,226,340
納付消費税等 合計	900,000	0	543,300	550,000
事業経費合計	80,780,000	36,950,432	79,461,441	73,632,000
事業収支差額	-10,000	10,977,113	6,181,089	0
(事業外損益の部)				
[事業外収入]				
受取利息	10,000	663	2,606	3,000
事業外収入合計	10,000	663	2,606	3,000
[事業外経費]				
事業外支出合計	0	0	0	0
事業外収支差額	10,000	663	2,606	3,000
経常収支差額	0	10,977,776	6,183,695	3,000

## [諸会費\* 内訳]

WASPaLM, ASCPaLM, 内保連, 日本専門医制評価・認定機構, JCCLS, 臨床検査振興協議会  
認定検査技師機構, 医療安全全国共同行動, 日本医療安全調査機構(H24より)



日本臨床検査医学会ニュース  
東日本大震災対策費用 内訳

自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日  
(単位:円)

委員会活動費	100,798
保険料	4,500
旅費交通費*	2,386,768
通信費	3,270
消耗品費	2,286
支払手数料	2,730
事業経費合計	<u>2,500,352</u>

[旅費交通費* 内訳]	
旅費・交通費	1,307,706
日当	<u>1,060,000</u>
合計	<u>2,367,706</u>

《平成23年度中間報告・平成24年度予算案》

特別会計

自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日

【経常損益の部】	H23予算	H23中間実績	H22決算	H24予算(案)
(事業損益の部)				
[事業収入]				
	0	0	0	0
事業総収入	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
[事業経費]				
支払手数料	3,000	735	735	3,000
事業経費合計	<u>3,000</u>	<u>735</u>	<u>735</u>	<u>3,000</u>
事業収支差額	<u>-3,000</u>	<u>-735</u>	<u>-735</u>	<u>-3,000</u>
(事業外損益の部)				
[事業外収入]				
受取利息	50,000	315	151,155	600
事業外収入合計	<u>50,000</u>	<u>315</u>	<u>151,155</u>	<u>600</u>
[事業外経費]				
	0	0	0	0
事業外支出合計	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
事業外収支差額	<u>50,000</u>	<u>315</u>	<u>151,155</u>	<u>600</u>
経常収支差額	<u>47,000</u>	<u>-420</u>	<u>150,420</u>	<u>-2,400</u>

日本臨床検査医学会ニュース  
 ≪平成23年度中間報告・平成24年度予算案≫

アジア交流基金

自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日

【経常損益の部】	H23予算	H23中間実績	H22決算	H24予算(案)
(事業損益の部)				
[事業収入]				
事業総収入	0	0	0	0
[事業経費]				
雑費(支払手数料)	3,000	0	7,000	3,000
事業経費合計	3,000	0	7,000	3,000
事業収支差額	-3,000	0	-7,000	-3,000
(事業外損益の部)				
[事業外収入]				
受取利息	3,000	410	1,711	500
事業外収入合計	3,000	410	1,711	500
[事業外経費]				
ASCPaLM会議(第11,12回)への補助金	0	0	500,000	1,000,000
事業外支出合計	0	0	500,000	1,000,000
事業外収支差額	3,000	410	-498,289	-999,500
経常収支差額	0	410	-505,289	-1,002,500

日本臨床検査医学会ニュース  
 《平成23年度中間報告・平成24年度予算案》

学会賞基金

自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日

【経常損益の部】	H23予算	H23中間実績	H22決算	H24予算(案)
(事業損益の部)				
[事業収入]				
学会賞寄付金収入	1,000,000	0	2,500,000	2,000,000
事業総収入	1,000,000	0	2,500,000	2,000,000
[事業経費]				
学会賞副賞	2,500,000	0	2,000,000	2,000,000
雑費(支払手数料)	10,000	840	7,140	10,000
事業経費合計	2,510,000	840	2,007,140	2,010,000
事業収支差額	-1,510,000	-840	492,860	-10,000
(事業外損益の部)				
[事業外収入]				
受取利息	25,000	177	54,696	300
事業外収入合計	25,000	177	54,696	300
[事業外経費]				
	0	0	0	0
事業外支出合計	0	0	0	0
事業外収支差額	25,000	177	54,696	300
経常収支差額	-1,485,000	-663	547,556	-9,700

## 平成 23 年度事業中間報告

## 1. 会議

総会	11月18日				
臨時社員総会	11月17日				
定時社員総会	3月27日				
理事会	3月27日	6月18日	8月19日	10月22日	12月17日
常任理事会	1月21日	3月16日	6月9日	8月10日	10月18日
	12月8日予定				

## 2. 学術集会 第58回学術集会 11月17日～20日(岡山)

## 3. 刊行物

機関紙	第59巻1～12号	Supplement	第59巻 補冊
名簿	刊行しない		

## 4. 臨床検査専門医、管理医、研修施設 認定

・臨床検査専門医認定試験	8月6日～8月7日	(慶應義塾大学)
・臨床検査専門医更新	1月	
・認定研修施設の認定・更新	1月1日, 7月1日	
・臨床検査管理医講習・認定試験	9月11日	(慶應義塾大学)

## 5. 会員数

	平成 22 年度	平成 23 年度 (10/31)
会員数(合計)	2,923 名	2,660 名
正会員	2,703 名	2,438 名
(評議員)	(267 名)	(256 名)
学生会員	42 名	45 名
名誉会員	42 名	40 名
功労会員	136 名	137 名
賛助会員	36 社	34 社

## 6. 関連団体(事業)

1) 第 21 回日本臨床検査専門医会春季大会(盛岡)	6月10日～11日
2) 2011 年度 JCCLS 学術集会(東京)	8月20日
3) 第 26 回 WASPaLM 大会(ラスベガス)	10月19日～22日
4) 第 51 回日本臨床化学年次学術集会(札幌)	8月26日～28日
5) 第 43 回日本臨床検査自動化学会(横浜)	10月6日～8日
6) 日本臨床検査同学院	
・遺伝子分析科学認定士試験	6月11日～12日
・二級臨床検査士試験	7月9日～7月31日
・緊急検査士試験	7月31日
・一級臨床検査士試験	10月, 11月
7) 認定検査技師機構 理事会	未定
8) 日本専門医制評価・認定機構 協議委員会	2月7日
社員総会	2月21日
9) 臨床検査振興協議会 理事会	2月24日 5月27日
	8月18日 12月1日予定

平成 24 年度事業計画（案）

1. 会議

定時社員総会	3月31日
臨時社員総会	11月29日
総会	11月30日
理事会	1～2月, 3月31日, 8月中旬, 10月下旬～11月初旬,
常任理事会	適時

2. 学術集会

第 59 回学術集会 11月29日～12月2日（京都）

3. 刊行物

機関紙	第 60 卷 1～12 号
Supplement	第 60 卷 補冊
名簿	刊行する

4. 各種委員会活動

「学術推進化委員会」「編集委員会」「教育委員会」「臨床検査点数委員会」  
「学会賞委員会」「標準化委員会」「精度管理委員会」「EBLM 委員会」  
「倫理委員会」「利益相反委員会」「ガイドライン作成委員会」「治験委員会」  
「検査項目コード委員会」「広報委員会」「臨床検査室医療評価委員会」  
「専門医・管理医委員会」「遺伝子委員会」「国際委員会」「会則改定委員会」  
「医療安全委員会」「渉外委員会」「審査委員会」「学術集会委員会」

臨床検査専門医・管理医審議会

「研修施設・指導者認定委員会」「受験・更新資格審査委員会」  
「試験委員会」「試験実行委員会」「臨床検査専門医制度検討委員会」

5. 臨床検査専門医・研修施設

・臨床検査専門医認定試験	7月下旬～8月初旬（兵庫医科大学）
・臨床検査専門医, 管理医更新	1月1日
・臨床検査管理医講習・認定試験	9月（東京）
・認定研修施設の認定・更新	1月1日, 7月1日

6. 関連事業

- 1) 日本臨床検査専門医会 第 22 回春季大会（山口） 3月23日～24日
- 2) 日本臨床検査標準協議会 平成 24 年度学術集会 8月
- 3) WASPaLM 理事会
- 4) 第 12 回 ASCPaLM（京都） 11月29日～12月2日
- 5) 日本臨床検査自動化学会 第 44 回大会（横浜） 10月11日～13日
- 6) 日本臨床化学会 第 52 回年次学術集会（岩手） 9月6日～8日
- 7) 日本臨床検査同学院（認定臨床検査士試験：遺伝子分析科学, 二級、緊急、一級）
- 8) 認定検査技師機構（理事会）
- 9) 日本専門医制評価・認定機構（社員総会、協議委員会）
- 10) 日本臨床検査振興協議会（理事会）
- 11) 各種認定制度協議会